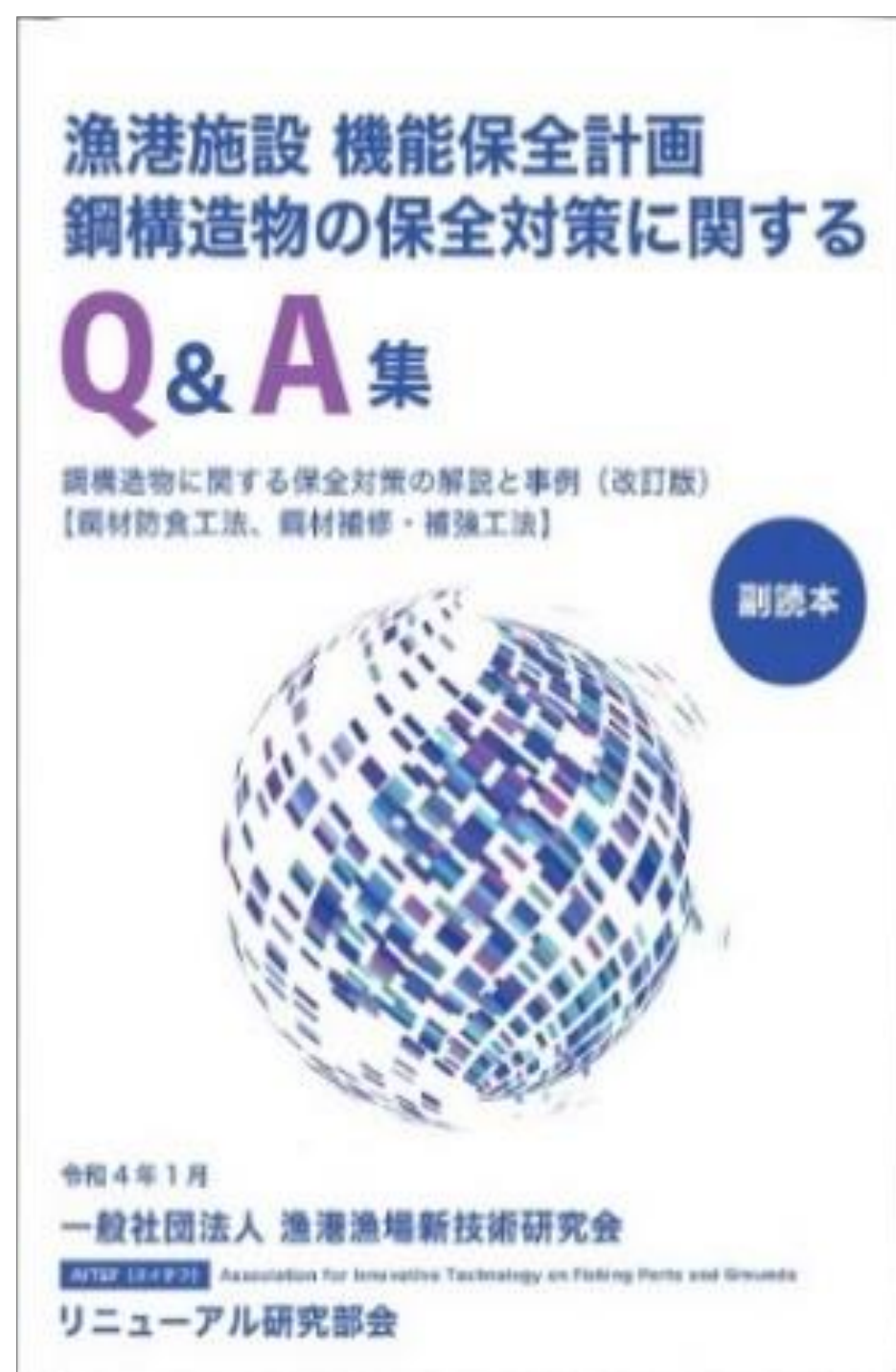
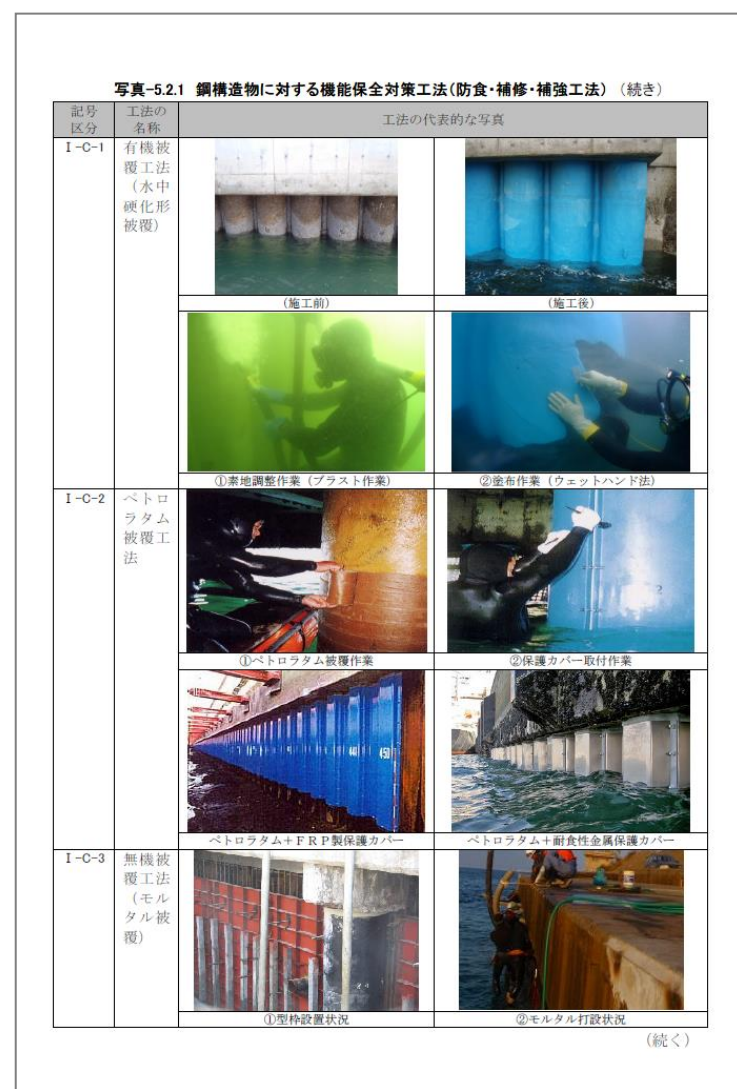




農林水産
大臣賞



鋼構造物Q&Aの表紙

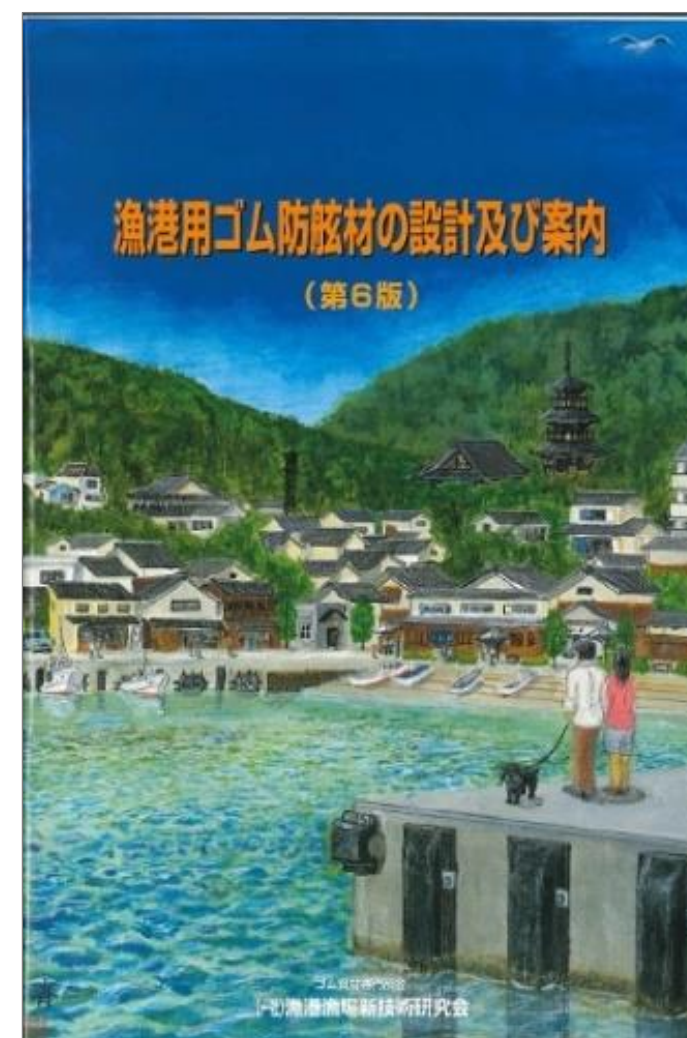


補修工法を分かりやすく
写真で解説

浮体式係留体の設計・施工マニュアル（要）

項目	年	目	内容
総論		1	総論
基礎		2	基礎
浮体		3	浮体
係留		4	係留
防食		5	防食
補修		6	補修
補強		7	補強
その他		8	その他

点検表を示すなど、
実用面にも配慮



漁港用ゴム防舷材
ガイドラインの表紙



ゴム防舷材の劣化形態を
わかりやすく写真で解説

水産基盤等
分野

地方公共団体を支援する漁港漁場施設の 維持管理ガイドラインの作成・普及

取組概要

漁港漁場施設の効率的・効果的なストックマネジメントを推進するためには、施設管理者（地方公共団体）が適切な維持管理手法の理解を深め、ノウハウを習得する必要があります。

このため、漁港漁場施設の維持管理手法に知見を有する民間企業（漁港漁場新技術研究会会員）が、各々の得意分野を活かして、鋼構造物、フィッシャリーナ施設（プレジャーボート等の係留施設）、漁港用ゴム防舷材、浮体式係留・外郭施設に係る維持管理ガイドラインをそれぞれ作成するとともに、施設管理者への普及を図った。

受賞理由

様々な民間企業が結集し、各々の得意分野を活かして多くのガイドライン等を作成し、全国の施設管理者への提供や普及活動を行っており、地方公共団体のインフラメンテナンス技術の底上げや質の向上に貢献していることが評価された。

取組のポイント

多数の民間企業が結集し、テーマ毎のグループを組織。民間主導で、行政機関が作成した維持管理に係る基準類を補完・充実化させる各種ガイドラインの作成を行った。

技術職員が少ない地方公共団体を想定し、日常管理から劣化診断・対策まで、写真等を用いて分かり易く解説。都道府県に無償配布、市町村等に発刊の情報提供を行ったほか、都道府県等の講習会での解説、HP上での周知など、広報・普及にも尽力した。

受賞者について



受賞者

一般社団法人漁港漁場新技術研究会 橋本 牧
株式会社ナカボーテック 吉田倫夫
ゼニヤ海洋サービス株式会社 伊藤 学
三井住友建設鉄構エンジニアリング㈱ 西 和宏
日鉄エンジニアリング株式会社 片山能輔
シバタ工業株式会社 池邊将光
エム・エム ブリッジ株式会社 木原一禎

コメント

この度は「農林水産大臣賞」というたいへん名誉ある賞を頂き光栄に存じます。漁港整備関係の技術を有する企業が協力して、漁港インフラの機能保全が円滑に進むよう取り組んできました。今後とも漁港・漁場整備に技術的な貢献ができるよう努力して参ります。

団体概要

当研究会は、漁港・漁場の整備に関する新技術の研究・開発・活用・普及を目的に、民間企業が結集して9研究部会15専門部会の体制で、新型構造物の開発、新技術の導入支援、各種マニュアルの作成などを行っています。

問い合わせ先

一般社団法人漁港漁場新技術研究会
TEL 03-5294-6868 FAX 03-5294-6877
MAIL info@aitef.or.jp